

てをつなG。

2020.Spring vol.124

CONTENTS

Awesome NPO

四万十市の注目プロジェクト

高知県立中村高等学校西土佐分校
地域ボランティア隊 RAPPOR
藤岡盆踊り実行委員会

防災交流会

Next generation

高知県立中村高等学校西土佐分校
永山よし子さん/坂本 希さん



てをつなG

発行・編集：高知県ボランティア・NPOセンター
〒780-8557 高知市朝倉375-1 高知県立大学交流プラザ4F 高知県社会福祉協議会内
Tel:088-850-9100 Fax:088-844-3882 E-mail:kvn@pdpkkooh.or.jp



高知県立中村高等学校西土佐分校 地域ボランティア隊 RAPPOR

永山よし子さん(写真左)/坂本 希さん(写真右)

●活動に参加したきっかけを教えてください。

永山：姉が在校時ラポールに所属していて、その姿にあこがれました。将来は西土佐に帰ってきたいと思っていて、西土佐のことを良く知りたいと思い参加しました。

坂本：中学生の時にラポールの活動を見て、いいなと思いました。子どもと関わることが好きなので、地域に出て子どもたちと接する機会が多いラポールの活動は魅力的でした。

●活動のやりがいを教えてください。

永山：活動以外のところでも地域の人たちが声をかけてくれるのが嬉しいです。イベントとかで披露するダンスをやっているのですが、見た人が喜んでくれるのが嬉しいです。

坂本：地域の人たちと関わって、いろんな人たちとお話できるのがとても楽しいです。

●趣味や特技、好きな教科などは何ですか？

永山：社会科、特に日本史が好きです。ジャニーズが好きでライブDVDをよく見ます。47都道府県の形を見たら全部言えるのがプチ特技です(笑)。

坂本：強いて言うなら現代文が好きです。最近はYouTubeをよく見しています。

●最近ハマっていることはありますか？

永山：携帯のアプリでゲームをよくしています。

坂本：音楽を聴くことが好きで、いつも聴いています。

●最後に、将来の夢を教えてください。

永山：西土佐で介護福祉士の仕事がしたいです。そのためにも相手の気持ちに寄り添えるようにしながら活動に取り組んでいきたいです。

坂本：保育士になりたいと考えています。ずっと笑顔で気持ちや活動を分かりやすく伝えていけるように頑張っていきたいです。



防災交流会

Presented by

NPO法人 高知県西部NPO
支援ネットワーク
高知県青年団協議会

防災で地域をつなぐ

四万十の歴史から

高知県西部NPO支援ネットワークが主催する「南海地震に備える」事業の一環として、2019年12月21日に四万十市で「防災交流会」が行われ、黒潮町の元情報防災課課長の基調講演や、県内幡多地域で取り組まれている様々な活動の様子が報告されました。

その中で昭和南海地震が起こった日に合わせ、震災からの復興に尽力した青年たちの取り組みを題材に、高知県青年団協議会とコラボしたオリジナルの寸劇を披露。「防災」「災害」という当事者意識を引き出すテーマにすることで、世代間交流が生まれ、老若男女の交流の形が見えてきたそう。今回は、そんな防災交流会の様子をお届けします！



緊張したけど楽しかった!

県内青年団活動の礎を築いた四万十市出身の社会運動家、兼松林檎郎を軸に、震災からの復興に尽力した青年たちを描くオリジナルの寸劇。練習から力が入り、メンバーの皆さんの演技にも力が入ります。この人にこんな演技の才能があったの!?!という発見もあったそうです。

打ち合わせにも力が入ります



今回のような寸劇を行う構想は、7年前からあったそう。

メンバーは、「災害をテーマに、地域・NPOがつながり、それぞれの得意分野や動き方を知る機会になれば」「昔の賑わいや高齢者の知恵を若者に知ってもらいたい」という思いを語ってくれました。

主役はこんな人!
かみまつ りんごろう
兼松林檎郎



戦後間もないころの青年団活動のリーダー。昭和20年8月の敗戦の翌9月、中村町青年団を結成し、団長に。昭和の南海大地震の際は、幡多管内の若者を動員し、当時10年かかると言われた復興への道筋を半年でつけ、復興の一翼を担った。この時の若者たちのフットワーク、ネットワークが基になり、幡多や高知県の青年団の誕生につながっていた。

出演者の感想

高知で実際に起こったことを自分で体験できるということに感動し、町・歴史・防災をより身近に感じることができて楽しかったです。大きな声を出して演じることの気持ちよさを感じました。

参加者の感想

生で寸劇を見ると、当時の空気感が伝わってきて感動しました。こういった場がみんなが集まる場となったことが良かったと思います。

交流会後にはもちろん懇親会!今回できたつながりはより深く、これからも続いていきます。



高知県西部NPO支援ネットワーク
〒787-0029
高知県四万十市中村小姓町31

NPO法人
高知県西部NPO
支援ネットワーク
&
高知県青年団協議会
のみなさん



▶▶▶ 四万十市といえば？日本最後の清流四万十川！そしてうなぎや鮎などの美味しい食。
 そんな自然の恵みだけでなく、心をひきつけ夢中にさせる“人”もたくさんいます！今号では、そんな魅力たっぷりの人たちの取り組みをご紹介します。

高知県立中村高等学校西土佐分校 地域ボランティア隊

Rapport [ラポール]

地域への
思い

高知県立中村高等学校西土佐分校では、“西土佐に笑顔の輪を広げること”をテーマに、高校生たちの発想力と行動力を活かした様々なボランティア活動に取り組んでいます。

2014年、当時の3年生の女の子たちの多くは卒業後の進路として保育や介護、看護を志望していました。その生徒たちからの「西土佐地域で自分たちができることを手伝いたい」という声をきっかけに、地域ボランティア隊Rapportが発足しました。

保育所や福祉施設での行事のお手伝いから道の駅でのイベントのお手伝い、その他にも図書館での読み聞かせや小学校の放課後に学習支援など、生徒たちができることを地域の方々と“一緒に楽しむ”ボランティア活動を展開しています。



クリスマス訪問 R1.12.24 四 @川崎保育所



昨年の保育園のクリスマス会は生徒が企画。園児の気持ちを考えながらの企画は大変だったけど、園児に楽しんでもらえて自分たちも楽しかった！

中村子どもまつり H30.7.21 田 @アピアさつき



地域の様々なイベントに積極的に参加し、来場者や地域の方との交流を深めています！メンバーそれぞれができる活動を選んで参加できることも、活動の魅力です。

放課後支援 R1.10.9 函 @西土佐小学校



学校が終わると自転車で急いで近所の小学校まで駆けつけ、今日も子どもたちと校庭で一緒に遊びます。遊びだけでなく、お兄ちゃん・お姉ちゃんと勉強もします！

敬老会 R1.11.10 田 @旧西土佐村本村地域



Rapportで代々行われている生徒オリジナルのダンス！敬老会や地域のイベントでたびたび披露中。西土佐のアイドルは間違いなくRapport!

活動を通じて、様々な地域の方とつながり、地域の方のお世話になっていると感じています。活動以外のところでも地域の方が声をかけてくれて、いろんな人と話せるのがとてもうれしいです。



永山よしのさん、坂本希さん

活動を通じて、生徒たち自身が自分に役割があることを感じており、活動が生徒たちの力になっていると感じています。西土佐に戻って就職したいという生徒もおり、将来、西土佐で活躍してもらえたらと思っています。



Rapport顧問の先生方



わらびおか 蕨岡盆踊り実行委員会

四万十市蕨岡地区には一風変わった盆踊りがあります。その名も「BON FES」。

平成17年に復活を遂げてから現在まで、「ナナメウエ」に行くBON FESの実態と地域の絆を紹介합니다。



景平さん

白木さん

尾崎さん

実行委員会は区長会やPTA、消防団に青年部など、地元のつながりを活かしたメンバーで構成されています。



#祭りの存在

若手メンバーにとって、子どもの頃に参加した盆踊りはすごく楽しかった思い出。その楽しさを今の子どもたちにも感じてもらいたい！小中学校の統廃合が決まっている今だからこそ蕨岡に誇らしさを持って好きになってもらいたい！との思いが盆踊り開催のモチベーションになっています。



#技術とアイデアの融合

若手メンバーたちの多彩なアイデアを支える地域の技術と盆踊り初開催のときから関わる事務局の方々。「やってみたい！」を実現させるための“思い”と“技術”のつながりが蕨岡にはありました。



#わらびお家

BON FESでは、毎年オリジナルTシャツをデザインして販売。そのデザイン性から、普段着として着る人がたくさん！！「祭りは年に1回だけど、日常の中で地域の方が蕨岡に愛着を持てるツール。地区外でもTシャツを着て買い物をしたりしている人とかがいて、やっぱり見かけると嬉しい」と語ってくれました。年に1回のBON FES開催に向けた準備、それを楽しみにする人たち、蕨岡をつないでいく祭りとTシャツ。そしてBON FES当日。何気ない日常から非現実的な祭りの開催まで、蕨岡には地域をひとつにする宝がたくさんありました！！



#シュールな楽しさ

「BON FES」はただの盆踊りにあらず！！盆踊りはもちろんのこと、婦人部のみなさんと子どもたちが作ったちらし寿司などの出店。盆踊りでは見慣れないブルーシートゾーン！？特大あみだくじなどのお楽しみ会。それに何といてもBON FES名物ハーフタイムショー！かき氷早食い競争や、万歩計を身につけてカウント数を競う「腰振りオリンピック」などなど。FESの最後には予算3万円分！？の家庭用花火たちがシュールに飛び交います。

